

## 校長つうしん No.44

Sapporo  
Odori

2018.3.8

鈴木 恵一



### プレゼンテーション大会

3月18日(日)~19日(月)

1年間(前期・後期)の学習成果を発表するプレゼンテーション大会がまもなく開催されます。



**presentation** の意味を改めて辞書で調べてみると……**提出、提示、実演、発表、説明、公開、上演、上映** といったものがあげられます。言葉による表現、芸術的な造形や演奏、舞踊による表現など実にさまざまです。あなたはどんな方法で発表しますか。私は昨年度のプレゼン大会のオープニングとクロージングで次のような話をしました。

#### ◆ presentation は present の機会です

発表者は“意味あるメッセージ”を受け手にプレゼントします。受け手は発表者に表現する機会と場所をプレゼントします。お互いに目に見えない無形のモノ



やコトを提供し合い大切な時間を共有します。



ステージ上でのパフォーマンスは緊張でドキドキすることでしょう。人に見てもらったり聞いてもらうことが恥ずかしいと感じる人もいることでしょう。でも、学びの成果と発表のスタイルは千差万別、個人差があっても当然。大切なのは、他人との比較じゃないんですね。少し前の自分と比較してどうかな? 進歩したかな?と考えてください。最初は知識も技術もなく、何もわからなかった、何もできなかった。でも少しずつ進化して今の自分がある。無理だと思っていたことが無理じゃなくなっている。

#### ◆伝えたい思い

私自身、人前で話すことが得意じゃありませんでした。教師なりたての頃は、とんでもなく下手くそな授業でした。あの頃の生徒に申し訳ないなと今でも思っています。でも、伝





えたい思いがある。自分のことばで伝えよう、ただその思いだけで教師を続けてきました。今でも緊張するし鼓動が高鳴って足が震えることもあります。よし、やるぞと心に決めても、うまくやれなかったらどうしよう、失敗したらどうしよう……そういう心の葛藤を乗り越えて「**自分らしくあろう**」と決意した瞬間、迷いが吹っ切

れるのです。

今回は、個人での発表もあればチームでの発表もあります。忘れてならないことは、これまでの「学び」を表現し、それを捉えなおして、今後へどうつなげることです。とても大切な振り返りの機会だといえるでしょう。

「しつこい」と言われても私は言い続けます。

**人生はチャレンジするか、しないか**です。私自身、何もでき

ずにただ立ち尽くし後悔したこともあります。人生にはいくつもの転機・転換点があります。チャレンジしない人は、ど

ンドン選択肢が狭まってきます。でも、生きている限りチャンスは無数に訪れます。そして、やはり、そこで「やるか、やらないか」を自分で決めることです。他人に言われて決めるのではなく自分で決める。人は、他人に言われてやると、“やらされ感”満載で、失敗したとき、他人のせいにしてしまうことがよくあるからです。



私の人生の失敗は何か、と聞かれたら、「あの時、人生の重要な局面だったのに何もやらなかったこと」と答えるでしょう。やって初めて自分の足りなさや弱い部分を自覚し、知性や知恵の必要性を感じるのです。でも、やらなかったら、人生すべて終わりというわけではありません。時間がかかってもいい、歳を取ってからもいい、気が付いたときに行動することです。ほんの少しの勇気があればいい。

### ◆札幌市立高等学校プレゼンテーション大会

3月31日（土） 札幌駅前通地下広場「チ・カ・ホ」（北3条交差点広場（西））

市立高校合同のプレゼン大会。ステージ上で自由に発表する「ステージ発表」と、会場に設けるブースにポスターパネルや作品を展示したり、来場者が実際に体験・参加できるプログラムを行う「ブース発表」を実施する予定です。ぜひ足を運んでみましょう！